

# 地球温暖化対策に関する事業者アンケート調査結果報告書

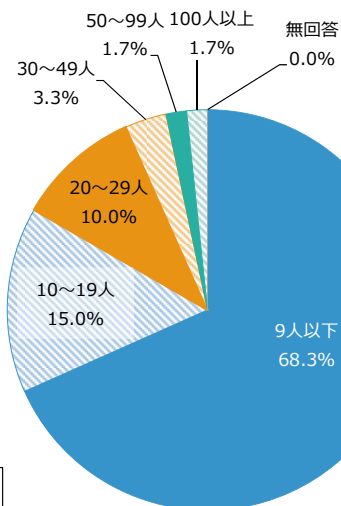
## 1 アンケート調査の概要

- 調査期間 : 令和 5 年 9 月 14 日～令和 5 年 10 月 13 日
- 調査対象 : 事業者
- 抽出方法 : 商工会会員から無作為抽出
- 調査方法 : 郵送による配布・回収、Web
- 配布数 : 100 通
- 回収結果 : 有効回収数 : 60 通 (内 Web11 件) (有効回収率 : 60.0%)

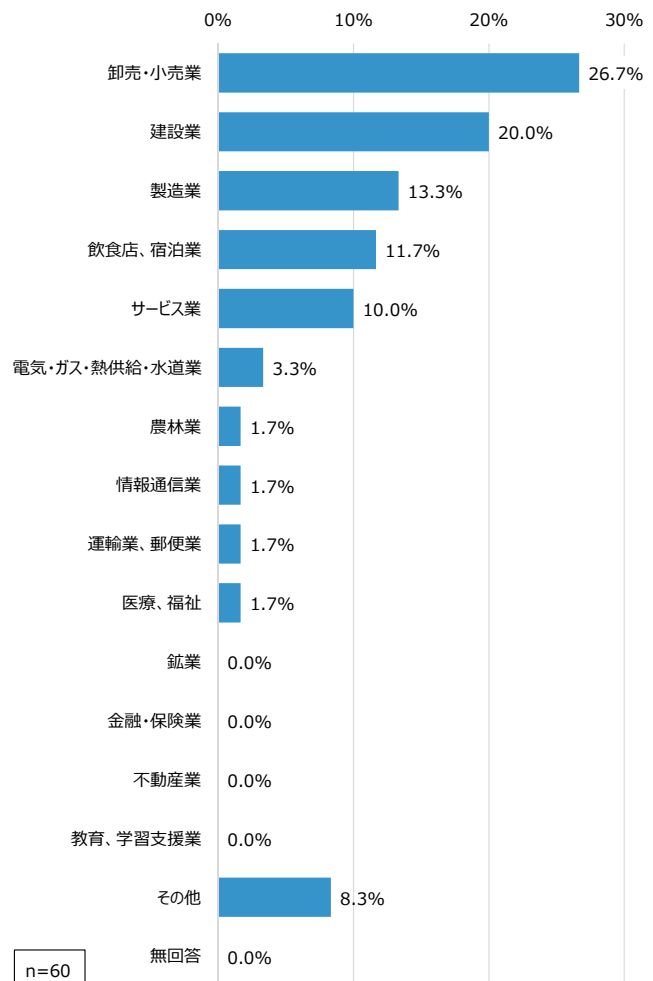
## 2 アンケート調査結果

問 1 貴事業所のことについてお聞きます。(各項目あてはまる番号 1 つに○)

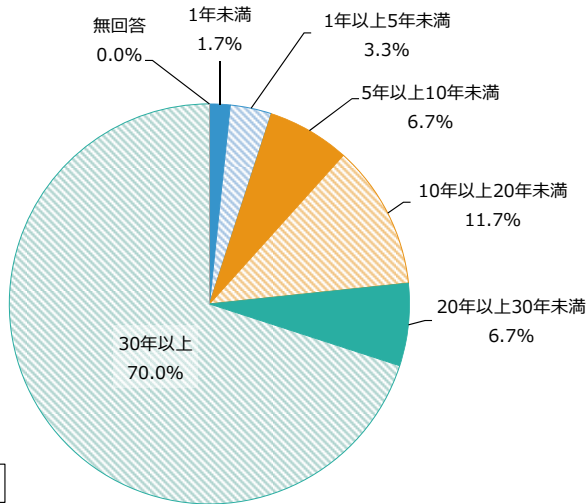
### ■ 従業員数



### ■ 業種

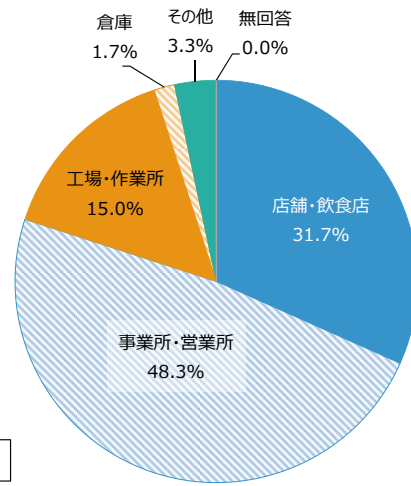


■ 事業年数



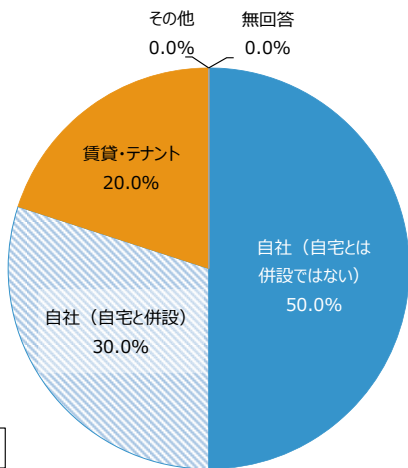
n=60

■ 事業所形態



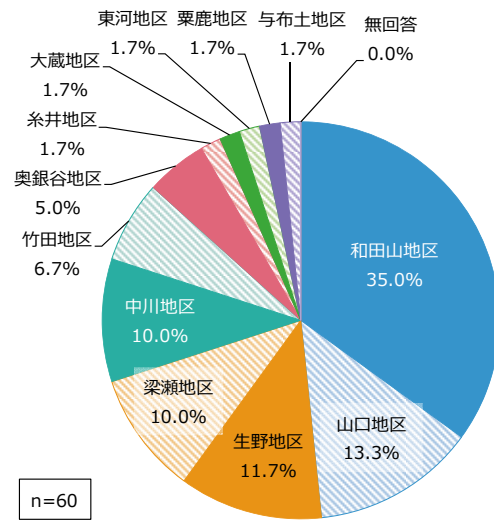
n=60

■ 所有形態



n=60

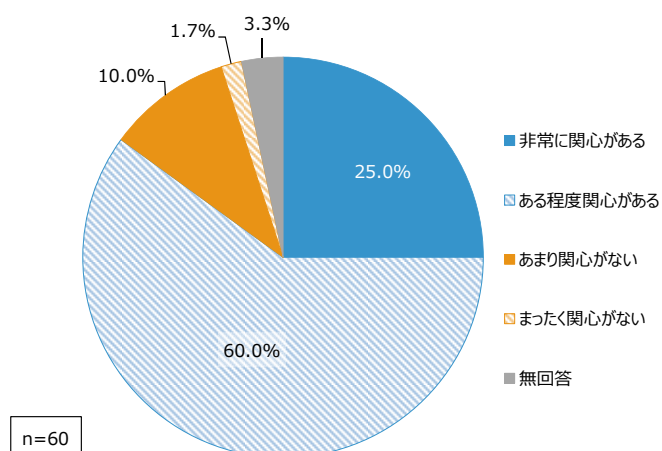
■ 所在地区



n=60

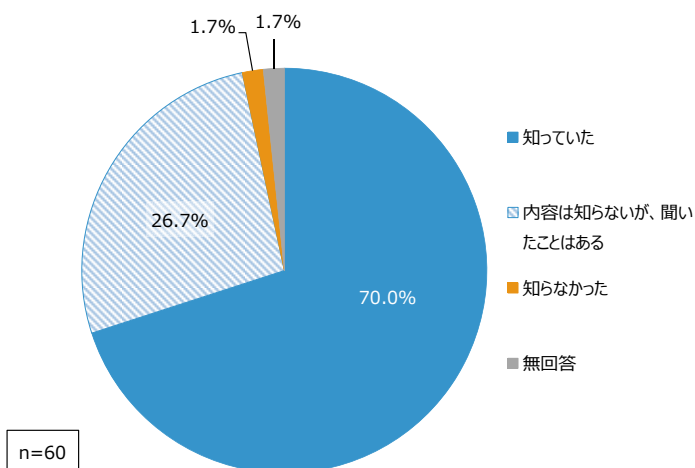
**問2** 貴事業所では、地球温暖化問題に関心がありますか。（あてはまる番号1つに○）

地球温暖化問題への関心については、「ある程度関心がある」が60.0%で最も多く、次いで「非常に関心がある」が25.0%、「あまり関心がない」が10.0%などとなっている。



**問3** 二酸化炭素などの温室効果ガスの排出量から、森林等による吸収量を差し引いて実質ゼロにすることを「カーボンニュートラル」といいます。貴事業所は、「カーボンニュートラル」という言葉を知っていましたか。（あてはまる番号1つに○）

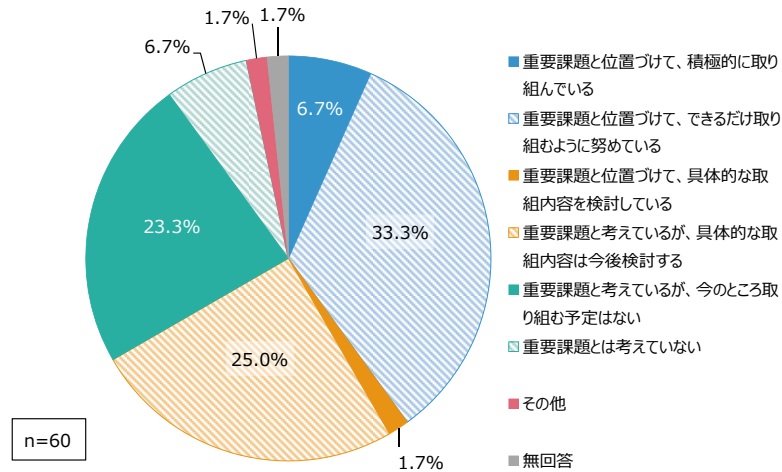
カーボンニュートラルの認知度については、「知っていた」が70.0%で最も多く、次いで「内容は知らないが、聞いたことはある」が26.7%、「知らなかった」が1.7%となっている。



#### 問 4

貴事業所では、カーボンニュートラルの実現に向けた地球温暖化対策をどのように位置づけていますか。（あてはまる番号 1 つに○）

地球温暖化対策の位置づけについては、「重要課題と位置づけて、できるだけ取り組むように努めている」が 33.3%で最も多く、次いで「重要課題と考えているが、具体的な取組内容は今後検討する」が 25.0%、「重要課題と考えているが、今のところ取り組む予定はない」が 23.3%などとなっている。

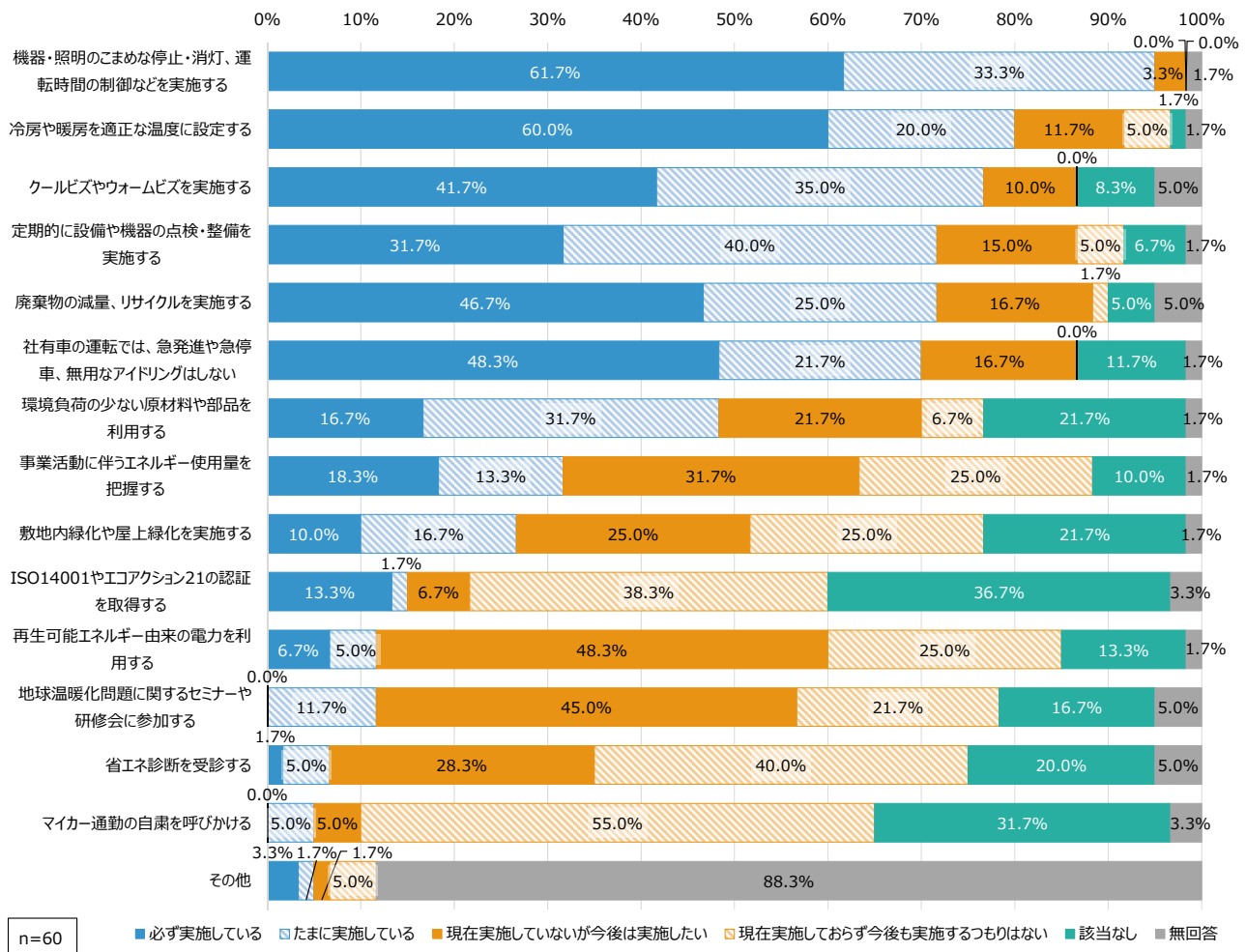


## 問 5

貴事業所では、省エネルギーなどに関する取組を行っていますか。（各項目あてはまる番号 1 つに ○）

「必ず実施している」及び「たまたに実施している」と回答された省エネルギーなどに関する取組については、「機器・照明のこまめな停止・消灯、運転時間の制御などを実施する」が 95.0%で最も多く、次いで「冷房や暖房を適正な温度に設定する」が 80.0%、「クールビズ、ウォームビズを実施する」が 76.7%などとなっている。

一方、「現在実施しておらず今後も実施するつもりはない」と回答された取組については、「マイカー通勤の自粛を呼びかける」が 55.0%で最も多く、次いで「省エネ診断を受診する」が 40.0%、「ISO14001 やエコアクション 21 の認証を取得する」が 38.3%などとなっている。



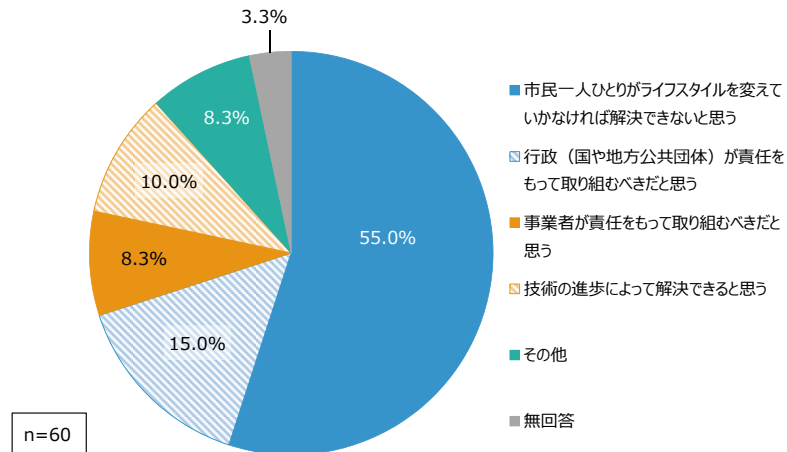
### ■ その他の主な意見

- カーボンプレジット購入
- ごみの分別
- レジ袋削減

## 問 6

貴事業所では、地球温暖化対策を行う主体について、どのようにお考えですか。（あてはまる番号1つに○）

地球温暖化対策を行う主体については、「市民一人ひとりがライフスタイルを変えていかなければ解決できないと思う」が 55.0%で最も多く、次いで「行政（国や地方公共団体）が責任をもって取り組むべきだと思う」が 15.0%、「技術の進歩によって解決できると思う」が 10.0%などとなっている。



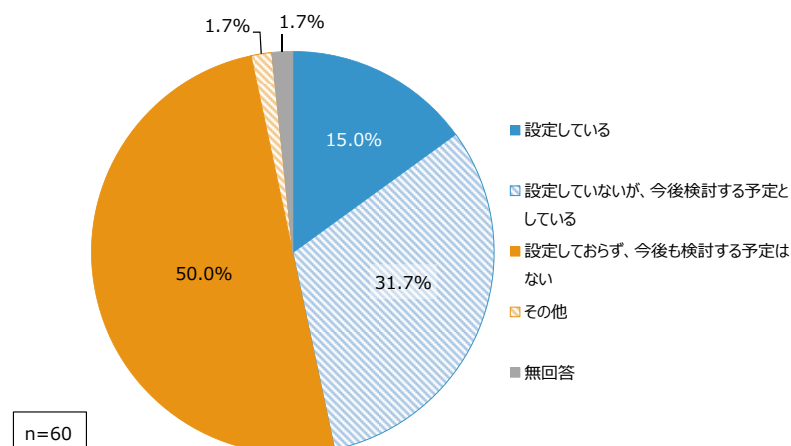
### その他の主な意見

- 市民、行政、事業者すべて
- どれか1つで解決は無理だと思う
- 主たる原因となる国・事業者等を整理し、改善を図るべき。地球規模で

## 問 7

貴事業所では、エネルギー使用量や温室効果ガス排出量の削減に関する目標を設定していますか。（あてはまる番号1つに○）

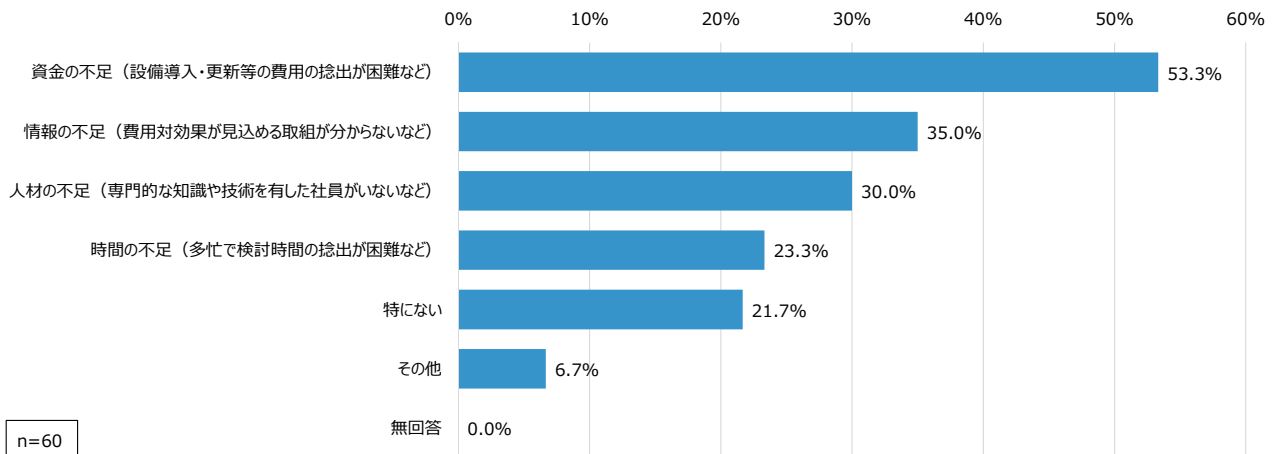
エネルギー使用量や温室効果ガス排出量の削減に関する目標の設定状況については、「設定しておらず、今後も検討する予定はない」が 50.0%で最も多く、次いで「設定していないが、今後検討する予定としている」が 31.7%、「設定している」が 15.0%などとなっている。



## 問 8

貴事業所では、省エネルギーなどの地球温暖化対策に取り組む上で、どのようなことが課題になっていますか。（あてはまる番号全てに○）

省エネルギーなどの地球温暖化対策に取り組む上での課題については、「資金の不足（設備導入・更新等の費用の捻出が困難など）」が 53.3%で最も多く、次いで「情報の不足（費用対効果が見込める取組が分からないなど）」が 35.0%、「人材の不足（専門的な知識や技術を有した社員がいないなど）」が 30.0%などとなっている。



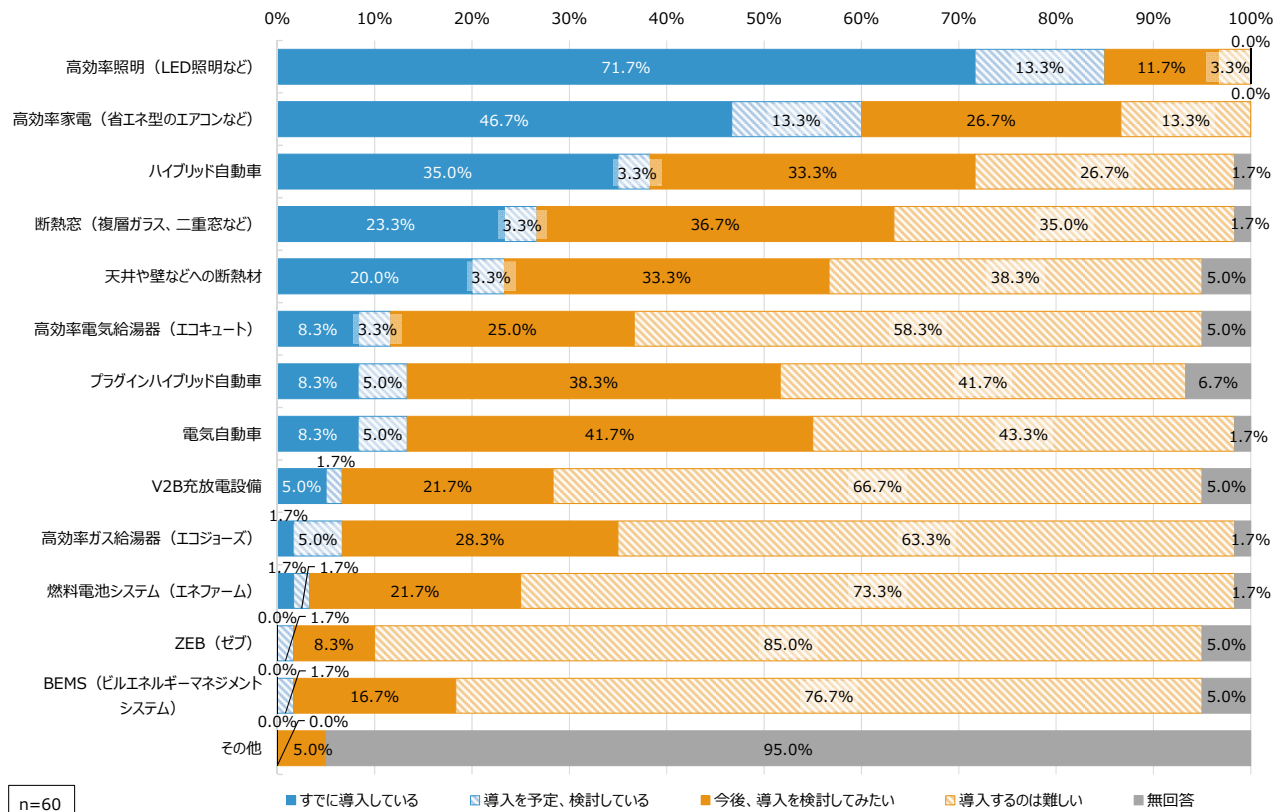
### その他の主な意見

- 所有物件でない
- 高齢化に伴い、先の事を考えてしまう
- 必要な電力を削減することはできない
- お客様の要望に応えると省エネルギーに繋がらない事が多い。その点の取組方法の情報が知りたいです

**問 9** 貴事業所では、省エネルギー機器などを導入していますか。（各項目あてはまる番号 1 つに○）

省エネルギー機器などの導入状況については、「高効率照明（LED 照明など）」が 71.7%で最も多く、次いで「高効率家電（省エネ型のアコンなど）」が 46.7%、「ハイブリッド自動車」が 35.0%などとなっている。

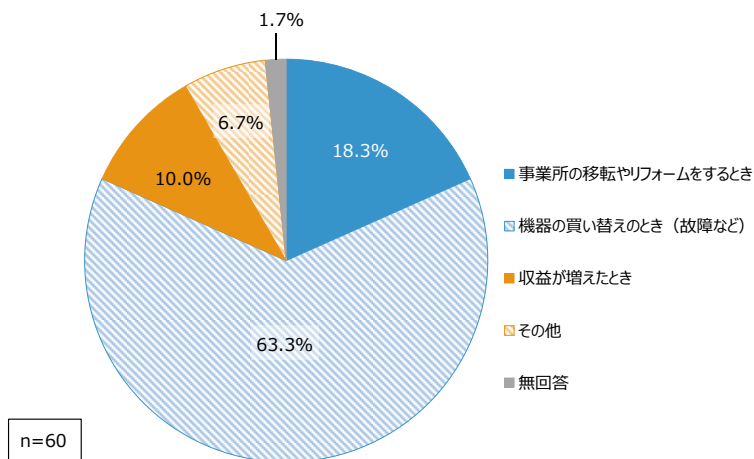
また、「今後、導入を検討してみたい」と回答された省エネルギー機器については、「電気自動車」が 41.7%で最も多く、次いで「プラグインハイブリッド自動車」が 38.3%、「断熱窓（複層ガラス、二重窓など）」が 36.7%などとなっている。



n=60

**問 10** 貴事業所では、省エネルギー機器などを導入しようとするタイミングはいつですか。（あてはまる番号 1 つに○）

省エネルギー機器などの導入のタイミングについては、「機器の買い替えのとき（故障など）」が 63.3%で最も多く、次いで「事業所の移転やリフォームをするとき」が 18.3%、「収益が増えたとき」が 10.0%などとなっている。



n=60



## その他の主な意見

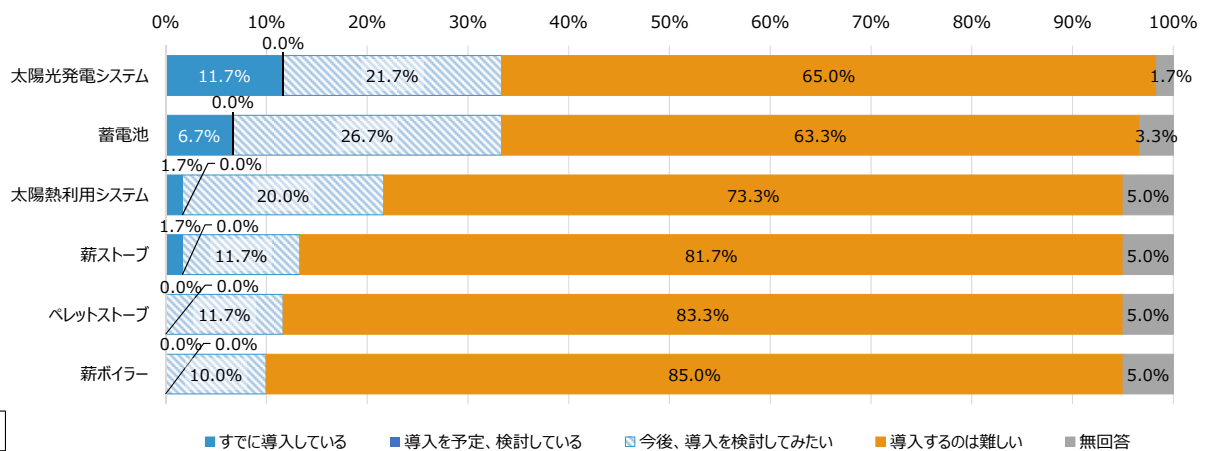
- 予算化して適時実施
- 自社保有の事業所（建物）を持つとき。（予定なし）

### 問 11

貴事業所では、再生可能エネルギー設備などを導入していますか。（各項目あてはまる番号 1 つに○）

再生可能エネルギー設備などの導入状況については、「太陽光発電システム」が 11.7%で最も多く、次いで「蓄電池」が 6.7%、「太陽熱利用システム」と「薪ストーブ」が 1.7%などとなっている。

また、「今後、導入を検討してみたい」と回答された設備については、「蓄電池」が 26.7%で最も多く、次いで「太陽光発電システム」が 21.7%、「太陽熱利用システム」が 20.0%などとなっている。



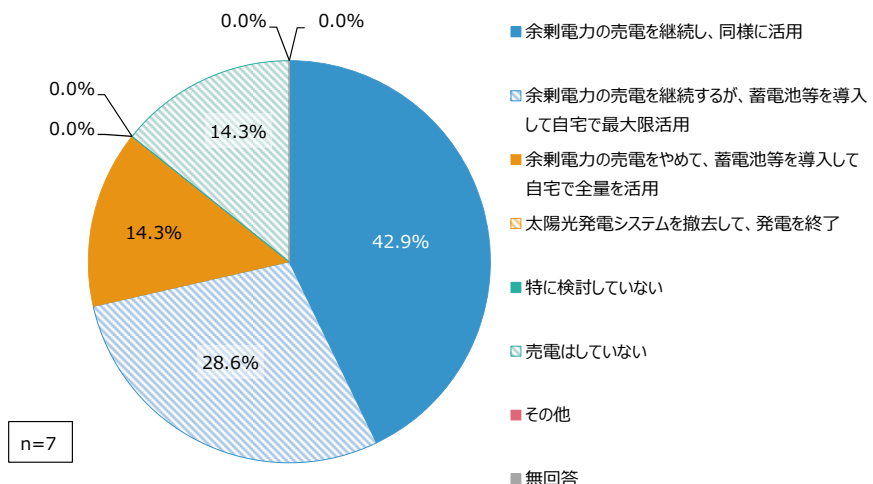
n=60

### 問 12

※問 11「太陽光発電システム」で「すでに導入している」を選択した事業所のみ

固定価格買取制度（FIT）の買取期間が終了した後、発電した電気をどのように活用されている、または活用される予定ですか。（あてはまる番号 1 つに○）

固定価格買取制度（FIT）の買取期間終了後の電気の活用については、「余剰電力の売電を継続し、同様に活用」が 42.9%で最も多く、次いで「余剰電力の売電を継続するが、蓄電池等を導入して自宅で最大限活用」が 28.6%、「余剰電力の売電をやめて、蓄電池等を導入して自宅で全量を活用」と「売電はしていない」が 14.3%などとなっている。



n=7

### 問 13

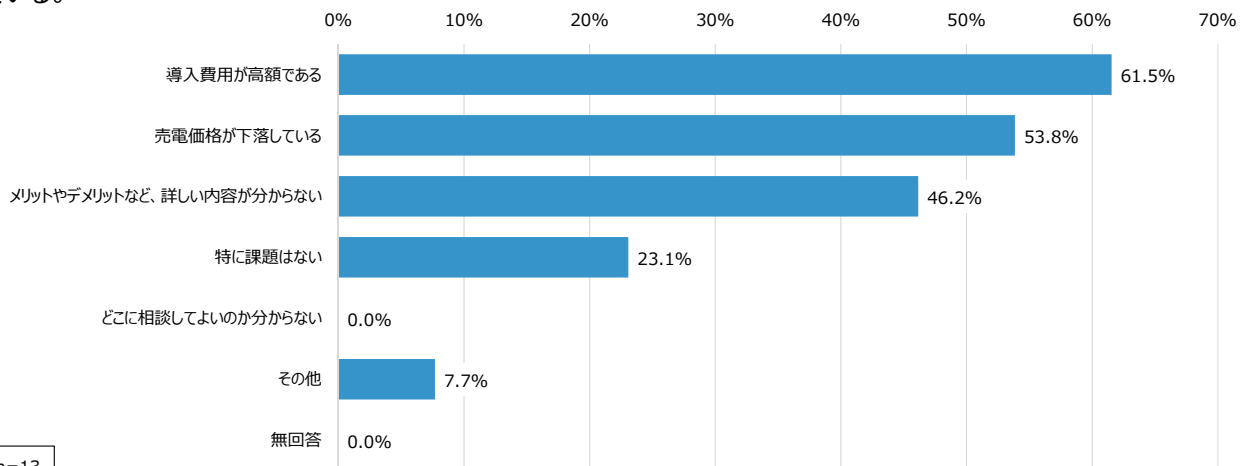
※問 11「太陽光発電システム」で「導入を予定、検討している」を選択した事業所のみ  
導入を予定、検討されている理由は何ですか。（あてはまる番号全てに○）

※該当事業所がいなかった為省略

### 問 14

※問 11「太陽光発電システム」で「今後、導入を検討してみたい」を選択した事業所のみ  
導入するにあたって、何が課題となると思いますか。（あてはまる番号全てに○）

太陽光発電システムの導入における課題については、「導入費用が高額である」が 61.5%で最も多く、次いで「売電価格が下落している」が 53.8%、「メリットやデメリットなど、詳しい内容が分からない」が 46.2%などとなっている。



n=13

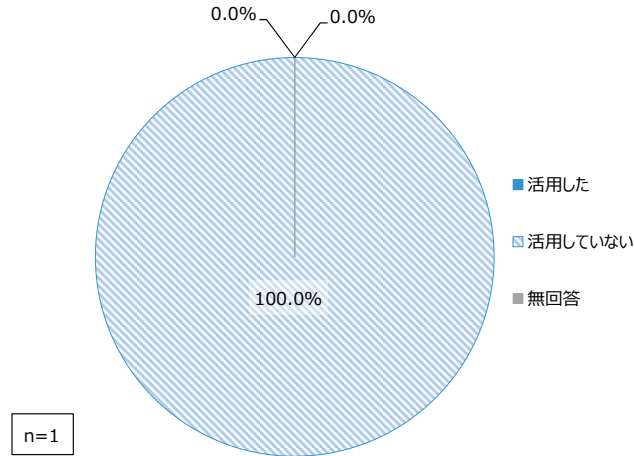
#### ■ その他の主な意見

- 建物が所有物件でない

問 15

※問 11「薪ストーブ」や「薪ボイラー」で「すでに導入している」を選択した事業所のみ  
朝来市では、今年度から薪ストーブや薪ボイラーの購入に対して補助を行っていますが、活用しましたか。（あてはまる番号 1 つに○）

薪ストーブや薪ボイラーの購入に対する補助の活用については、「活用していない」が 100.0%となっている。



問 16

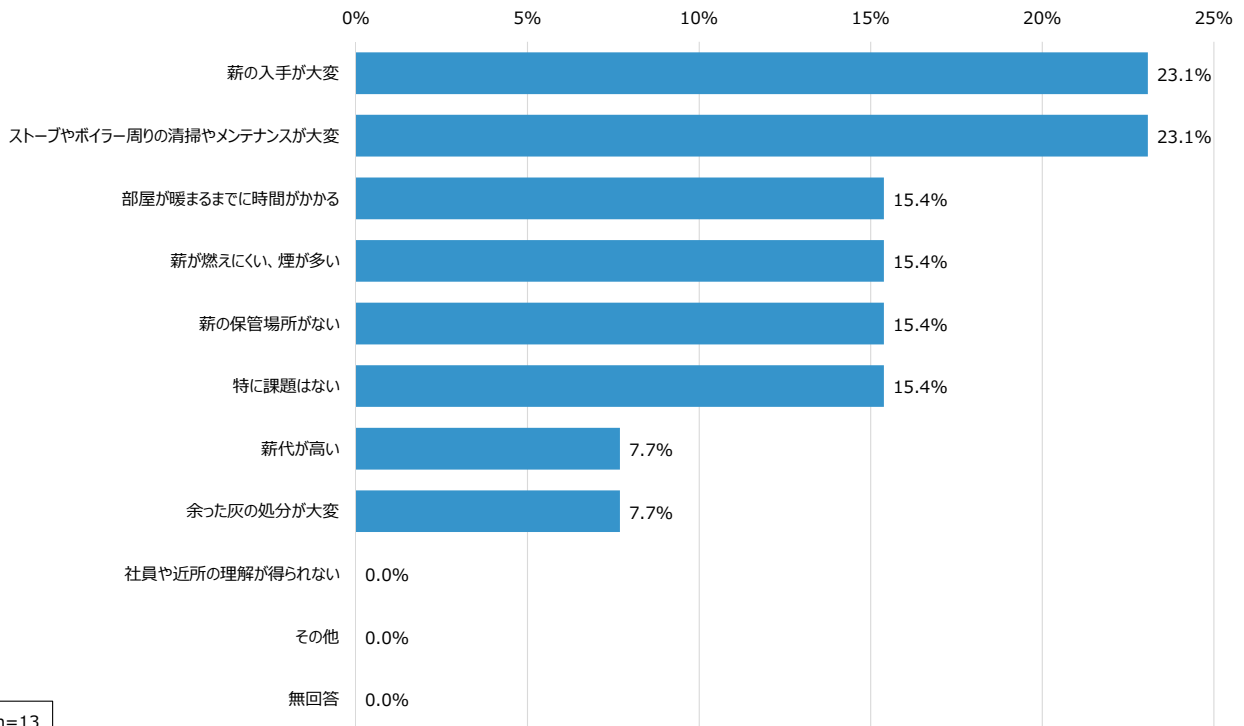
※問 11「薪ストーブ」や「薪ボイラー」で「導入を予定、検討している」を選択した事業所のみ  
朝来市では、今年度から薪ストーブや薪ボイラーの購入に対して補助を行っていますが、活用する予定はありますか。（あてはまる番号 1 つに○）

※該当事業所がいなかった為省略

問 17

※問 11「薪ストーブ」や「薪ボイラー」で「今後、導入を検討してみたい」を選択した事業所のみ  
 活用するにあたって、何が課題となると思いますか。（あてはまる番号全てに○）

薪ストーブや薪ボイラーを活用するにあたっての課題については、「薪の入手が大変」と「ストーブやボイラー周りの清掃やメンテナンスが大変」が 23.1%で最も多く、次いで「部屋が暖まるまでに時間がかかる」、「薪が燃えにくい、煙が多い」、「薪の保管場所がない」、「特に課題はない」が 15.4%などとなっている。

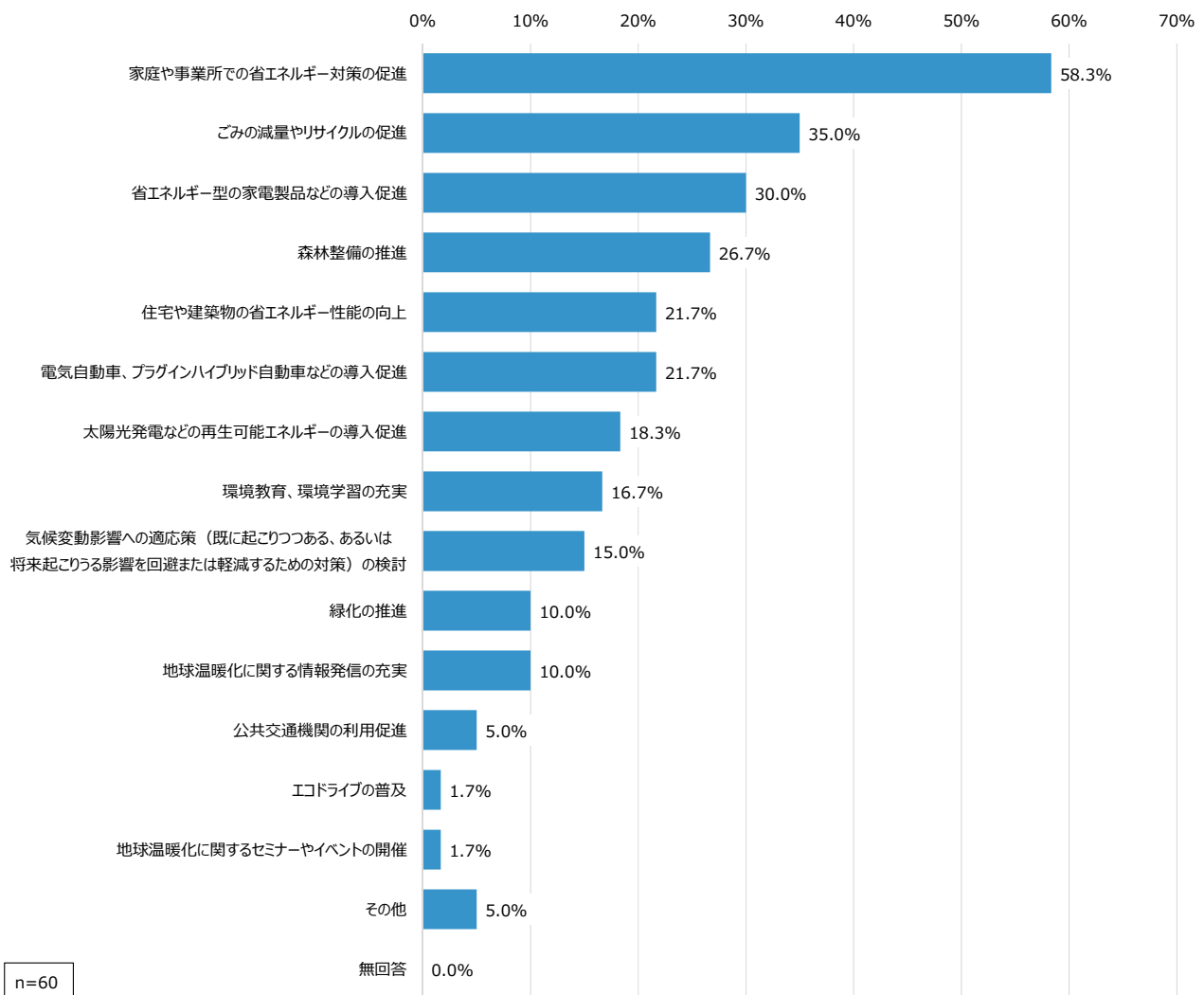


n=13

### 問 18

貴事業所では、今後、朝来市がカーボンニュートラルの実現に向けて地球温暖化対策を推進していくうえで、どのような施策に力を入れていくべきだと思いますか。（あてはまる番号 3 つに○）

朝来市がカーボンニュートラルの実現に向けて力を入れていくべき施策については、「家庭や事業所での省エネルギー対策の促進」が 58.3%で最も多く、次いで「ごみの減量やリサイクルの促進」が 35.0%、「省エネルギー型の家電製品などの導入促進」が 30.0%などとなっている。



#### ■ その他の主な意見

- 森林資源などを活用してむしろ排出量取引による収益を検討して欲しい
- 補助金の拡充
- 建物の屋根に太陽光発電パネルを設置する際の補助があれば良い

## 問 19

省エネルギーなどの地球温暖化対策に取り組むために行っている工夫や朝来市の地球温暖化対策に関するご意見・ご要望などがありましたら、ご自由にご記入ください。

### ■ 自由意見

- 省エネ対策で行っている工夫は正直にエアコンの温度管理程度です。今後は更に関心を深め実行して参りたいです。
- 設備導入及び更新に際しての補助金等の説明。植物由来の原料使用による補助の有無。（石化→植物～比率上げつつある）
- 導入に向けて補助金の紹介、創設
- CO<sub>2</sub>削減よりもむしろ排ガス規制による温暖化対策に力を入れるべきだと考える。
- 朝来市地球温暖化対策実行計画を新たに策定することにて次世代のために推進して強力に押し進めて下さい。期待しています。
- 家庭や企業の負担が増えるだけの取組は続かない。余裕のある企業においても環境問題をビジネスチャンスとして捉えている。「環境に良い」＝「経済的」など身近で具体的なメリットと合わさった取組が必要。自分達が我慢する一方で、中国では世界最大のCO<sub>2</sub>を排出しているとなると誰のための努力が分からなくなってしまう。単に「良いことだから」ではなく、具体的に朝来市にどう良いメリットがあるかご提示頂きたい。
- 地球温暖化対策としてCO<sub>2</sub>削減に取り組むことに限界を感じている。事業の精度向上などを考えると必要な設備・業務へのCO<sub>2</sub>削減を考えることができず、売り上げベース、利益ベースで考えても従業員を増やせば増えることになる。根本的な考え方を変えていかなければCO<sub>2</sub>削減はできないと感じている。特にリサイクルに関しては、個人的に廃プラ、廃紙を出すことに苦はないが、元々のリサイクルマークありきの考え方では、世界的な実情に合っておらず、廃棄ありきの日本的な考え方を変えていく状況に至っていないと考えます。
- 朝来市が今行っている取組についての情報が、市民に伝わっていないと感じる。伝わっていない現状に興味や関心は持てない。
- 水素の利用推進をしてはどうですか？小規模な水素発電所、水素自動車等、水素を活用した町づくりを進めてはいかがでしょうか？
- 森林整備の際に出る広葉樹を搬出し、市民に自由に持って行ってもらい、薪として提供する。それにより薪ストーブの積極的導入に繋がると良い。